smart **HD**

RoadView

本使用説明書は Road View(車載用映像記録装置)の動作説明および操作方法に関する内容を説明しています。
製品を正しくご使用いただくため、必ず使用説明書の内容をお読みになってから製品をお使いください。

目次

10 製品構成
11 各部分の名称
13 設置及び使用関連注意事項
14 端末機を設置する
18 端末機とホルダーの結合および分離
19 機能説明および使用
26 専用ビューアー
39 製品仕様

安全のための警告および注意事項

ユーザーの安全を守り事故による財産上の損害および不便を防ぐための内容です。
必ずよく読んで製品を正しくお使いください。

※ 安全のための警告および注意事項は、ユーザーが製品を正しく使わなかった時に予想される危険と損害の程度によって次のように区分します。

警 告

指示事項に違反した場合、人が死亡するか重傷を負う可能性が予想される内容です。

注 意

指示事項に違反した場合、人が負傷するか物的損害の発生が予想される内容です。

安全のための警告および注意事項

⚠ 警告

ユーザーが任意に製品を設置、分解、改造しないでください。
ユーザーが任意に製品を設置、分解、改造しないでください。

製品の設置は必ず車のイグニッションがOFFの状態で行ってください。
イグニッションがONの状態で設置すると、感電および事故の原因になります。

運転中には製品を操作しないでください。
運転中の操作は交通事故の原因になることがあります。
安全な場所に車を停車してから操作してください。

製品を設置する場合、車の運転の邪魔になる位置や、運転中の視野を遮るような位置に設置しないでください。
事故の原因になることがあります。

製品に異常が発生した時、製品を操作しないでください。
異物や水などが入ったり煙が出たりした時は、使用を中断して顧客センターにお問い合わせください。

製品の故障時には使用しないでください。
事故の原因になることがあります。

外部カメラの接続／分離は、電源を OFF にした後で行ってください。
製品の作動時に外部カメラを接続／分離すると、製品が誤作動する可能性があります。

製品を水に落としたり、湿気の多い場所に長期間保管しないでください。
浸水によって故障が発生した場合は、販売店や顧客センターにお問い合わせください。

⚠ 警告

製品の使用時には適正な温度(0℃～50℃)を維持してください。
製品の性能が落ちたりハードウェア損傷などの問題が発生することがあります。

暖房、電子レンジ、ヘアードライヤーなどで製品に高熱を加えないでください。
爆発や変形、故障の原因になることがあります。

夏季の直射日光下に長期間放置しないでください。
製品故障や火事の危険があります。

必ず製造元で提供する正規品をご使用ください。
正規品以外の付属品を使用すると、故障や事故発生の原因となることがあります。

製品周辺に水や飲み物、化学物質などの異物を置かないでください。
製品が損傷したり、故障の原因となることがあります。

車載機器(エアバッグシステムなど)の動作の邪魔にならない場所に設置してください。
車載機器の動作の邪魔になり、傷害を被ることがあります。

製品の規定電圧でのみご使用ください。
製品故障や火事の危険があります。

製品を正しい位置にしっかりと接着してください。
製品が正しく接着されていない場合、運行中に製品が剥がれ落ちて交通事故が発生することがあります。

⚠ 注意

製品に強い衝撃を与えないでください。
製品が破損したり、故障の原因となることがあります。

製品のカメラレンズ部はいつもきれいに清掃してください。
カメラレンズ部が異物で汚れていた場合、録画映像の画質が落ちることがあります。

製品の使用中に内部で発生した熱によって、身体が接触した部位にやけどを負う危険があります。
製品を長時間使った場合、製品内部で発生した熱でやけどの危険があります。

フロントガラスに濃い色付きのコーティングをした車の場合、録画映像が乱れることがあります。

急激な明るさの変化、逆光などの環境の変化が激しい場合、録画映像が乱れることがあります。
トンネルの出入口のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合などの条件では、録画映像の画質が落ちることがあります。

外部からの衝撃が弱かった場合、イベント録画にならないことがあります。
手動録画ボタンを利用し、手動でイベントを録画することができます。

油が付いた手や濡れた手で製品を触らないでください。
製品が損傷したり、故障の原因となることがあります。

錐、釘のように尖った道具などで製品を操作しないでください。
製品が損傷したり、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

磁石や磁場の近くに製品を置かないでください。
製品が破損したり、故障の原因となることがあります。

定期的に製品および録画映像を確認してください。
製品の正常動作やmicroSDカードの状態を確認してください。
問題が発見された場合には、製品の使用を中止して顧客センターにお問い合わせください。

本製品のメモリーカードは、microSD、Class6以上、4GB～32GB SDHC製品に対応しています。

常時電源ケーブルの設置は、必ず専門の設置業者を通して行ってください。

重要なデータは必ず別の保存媒体に保管してください。
長期間保管を要する重要なデータは別の保存媒体にバックアップして安全に保管してください。

長期間駐車していた場合、車のバッテリーが放電状態になることがあります。

microSDカードは映像を保存するための大変重要な部品なので、使用前に下記の注意事項を必ず読んでからお使いください。
microSDカードに記録されたデータの損失および破損については、どのような場合でも当社は一切の責任を負いません。

正規品のmicroSDカードのみお使いください。
サードパーティー製のmicroSDカード使用すると、データ損失および製品故障の原因となります。

microSDカード挿入時、方向に留意して、最後まで押し込んでください。
microSDカードが正しく挿入されていない場合、誤作動の原因となることがあります。

microSDカードを製品から抜き出す場合、必ず電源をOFFにしてLEDが消えている状態を確認した後、抜き出してください。
電源がONの状態でmicroSDカードを抜き出す場合、保存されていたデータが毀損、損失することがあり、製品故障の原因になることがあります。

microSDカードを任意に分解および改造しないでください。
microSDカード内のデータ損失や、製品故障の原因になることがあります。

microSDカードは消耗品なので規定の使用期間が経過するとメモリーの一部が損傷して正常な録画にならないことがあります。
録画映像を随時点検し、定期的に（週1回）フォーマット（フォーマット形式：FAT32）してお使いください。
正常な使用が不可能な場合、新品に入れ替えてお使いください。

重要なデータの場合、必ずmicroSDカード以外の別の保存媒体にバックアップして保管してください。
長期間保存を要する重要なデータは別の保存媒体にバックアップして安全に保管してください。

microSDカードを別途購入して使用する場合、対応可能なmicroSDカード容量を確認した後、購入してください。
本製品はClass6以上、最大32GBまで対応しています。

microSDカードスロットの静電気発生で製品が一時停止することがありますが、2分～3分後に自動復旧されます。
製品の一時停止の時、リセットキーからも復旧できます。

製品特徴

同クラス最高の高解像度Smart HD映像録画

2CH 前／後方向ライブ映像録画

車載バッテリーの完全放電防止回路設計

バッテリー電圧チェックによる端末機の動作電圧設定
* 専用ビューアーの環境で設定します。

多様な駐車録画モードをサポート
(駐車録画／イベント／動作感知など)

直観的で簡潔な外部インターフェース設計

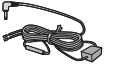
製品構成

構成品のイメージ図が実際の製品と異なることや、事情によって一部品目が変更されることがあります。

本体

使用説明書

microSDカード



常時電源ケーブル

AV-OUTケーブル

microSDメモリーカードアダプタ

ケーブル整理クリップ

別売品

GPSモジュール

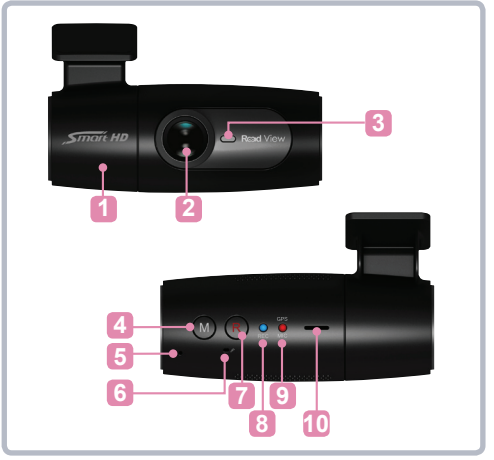
シガーソケット電源ケーブル

後方カメラ

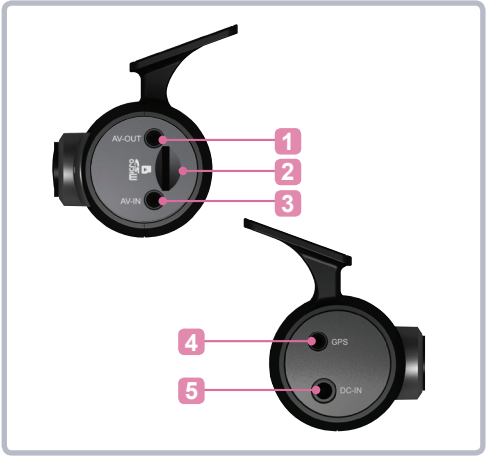
お知らせ

microSDカードには専用ビューアーと使用説明書が保存されています。
またホームページからダウンロードすることができます。

各部分の名称



1	車用ホルダー	ガラス窓に接着するホルダー
2	カメラレンズ	2.0M カメラ
3	セキュリティ LED (BLUE)	セキュリティ機能表示LED
4	メニューボタン	マイクON/OFF、microSDカードフォーマット
5	リセット	製品再起動ボタン
6	マイク	録画時に音声を録音
7	手動録画ボタン	手動録画、スピーカーON/OFF
8	REC LED	録画の状態を知らせる
9	MIC/GPS LED	マイク／GPSの状態を知らせる
10	スピーカー	各種サウンド出力スピーカー



1	AV-OUT出力端子	映像を外部機器へ出力
2	microSDカードスロット	microSDカード挿入部
3	AV-IN入力端子	後方カメラ接続
4	GPS端子	外部GPSアンテナ接続
5	電源接続端子	電源ケーブル接続

※ 本使用説明書のイメージ図は実際の製品とは異なることがあります。
※ 使用説明書は製品性能向上のためユーザーに予告なく一部変更されることがあります。

設置及び使用関連注意事項

設置関連

製品を設置する前に下記の内容をよくお読みください。

- 安全に製品を設置するため、使用説明書を十分に読んでから設置してください。
- 製品設置の前には必ずイグニッションをオフにして、車のキーを抜いた状態で設置してください。
- 録画画質を良くするためには、製品が設置されるガラス面をいつもきれいに清掃してください。
- GPSが付いた製品は周囲に電波障害(Hi-Pass、ナビゲーションなど)がないように十分に離してください。
- 録画場所および光源変化が激しい場合、録画映像の画質に差が出ることがあります。
- フロントガラスに濃い色付きやメタル素材のコーティングをした車の場合、GPSの受信率が低下し、映像の画質が暗く録画されることがあります。

運転中に製品が剥がれ落ちた場合、交通事故および人命傷害が発生することがあるため、ガラス面の異物およびほこりをきれいに取り除いた後、よく固定してください。

microSDカード関連

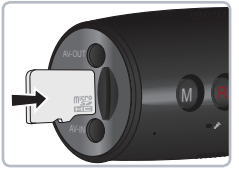
microSDカードを使う前に下の内容を確認してください。

- microSDカード使用時には、必ず正規品のmicroSDカードのみを使用ください。正規品ではないmicroSDカードを使用すると、データを損失する危険があります。
- microSDカードの挿入は、製品の電源 ON/OFFにかかわらず可能です。挿入と同時に内部ソフトウェアがリセットされた後、動作します。
- microSDカードを抜き出す際には、本製品の電源をOFFにして、動作 LEDが消灯されたことを確認した後 (最大20秒)に抜き出してください。本製品の電源がONの状態で抜き出すと、警告音が鳴り、映像録画を正しく終了できないため録画中の映像の一部が削除されるか、場合によってはmicroSDカードを使うことができなくなる可能性があります。

端末機を設置する

microSDカードの挿入および抜き出し

挿入



1 カードの方向に留意して図のように挿入します。

2 内部で引っかかる感じがするまでカードを押し込みます。

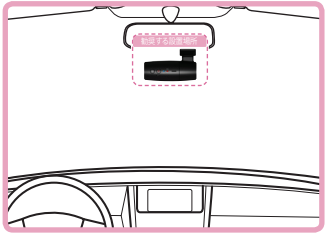
抜き出し

3 microSDカードを軽く押すと少し抜け出してきます。

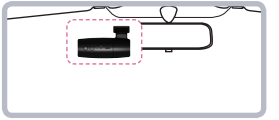
4 抜け出してきたmicroSDカードを完全に抜き取ります。

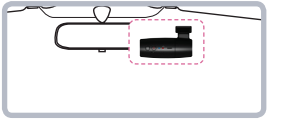
勧奨する設置方法

レンズの正確な位置決定のために、本体とホルダーを結合して設置するのが便利です。



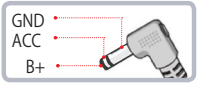
ルームミラーの前部、ガラス窓の中央に設置する時、最適な録画映像を得ることができます。





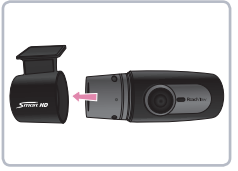
上記のように設置することが困難な場合、広い視野角（120度）を活用して、ルームミラーの左側や右側に設置することもできます。
中央ではない場所に設置された場合、録画映像が一方に傾くこともあります。

ケーブルの仕様

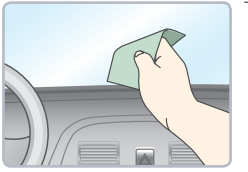


<常時電源ケーブル 極性（3極端子）>

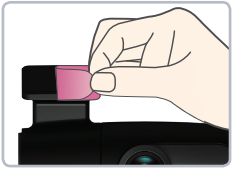
- **赤色線**（ACC）は、ACCヒューズに接続してください。
- **黄色線**（B+）は、非常灯、室内灯などの常時電源ヒューズに接続してください。
- **黒色線**（GND）は、車体にアース接続してください。



1 製品の本体とホルダーを結合します。(初期出荷の状態です)



2 製品を接着するフロントガラス部分を布切れできれいに磨きます。



3 ホルダーに付いている両面テープの保護フィルムを引き剥がします。

4 両面テープに気泡が生じないようにしっかりとに接着します。

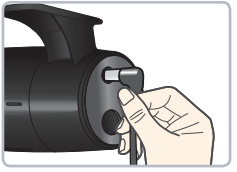
運転の邪魔になるか、運転中の視野を遮るような位置には設置しないでください。

5 本体のレンズ角度を適切な方向に調節します。

* 製品の本体とホルダーをそれぞれ手で握って、本体の上下角度で調節します。

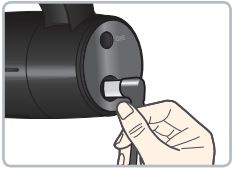
6 後方カメラを接続します。

後方カメラはAV-IN端子に接続します。



7 GPS（別売品）を接続します。

GPSはGPS端子に接続します。オプションなどを接続する時には電源ケーブルを取り外しておいてください。



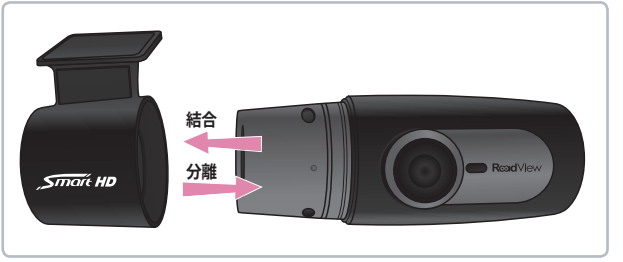
8 電源ケーブルを接続して動作を確認します。

電源ケーブルはDC-IN端子に接続します

お知らせ 端末機の接着位置と角度によって録画映像は異なります。

端末機とホルダーの結合および分離

本体とホルダーは下記のように分離します。



機能説明および使用

お知らせ

製品を起動する前に、以下の内容をご確認ください。

- 車の運転中には絶対に操作しないでください。
- 録画はmicroSDカードが挿入されている状態でのみ可能です。
- 録画中にmicroSDカードが抜き出された場合、警告音が鳴り、録画中の映像の一部が削除されることがあります。

電源 ON/OFF

本製品には電源ボタンはありません。常時電源ケーブルを接続すると、LEDが点灯して動作を開始します。
また駐車録画モードは、ACCをOFFにしてから10秒後に動作を開始します。

電源ON	電源OFF
REC LED：青点滅 セキュリティLED：ON 音声案内：今日も安全運転をしてください。	REC LED：OFF セキュリティLED：OFF 音声案内:録画を終了します。

お知らせ

本製品を常時電源ケーブルで接続している車両の場合、イグニッションをOFFにしても本製品の電源はOFFにはなりません。本製品の電源をOFFにするには、常時電源ケーブルを本製品から取り外します。

映像録画

設置及び配線を終えて、microSDカードが挿入された状態で電源をつなげると、録画が始まります。

REC LED：青点滅
セキュリティLED：青点滅

手動録画

ユーザーが手動で映像を録画／保存する場合に使用します。

- ボタンを短く押すと、効果音とともに手動で録画を開始することができます。
- 録画方式はイベント録画と同じです(ボタンを押す10秒前／ボタンを押す10秒後)。

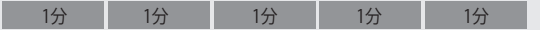
効果音:チャイム音
MIC/GPS LED：赤点滅

お知らせ

- 本機能は、イベント録画中には動作しません。
- 手動録画ファイルは、ファイル名に「**B**」がつきます。

録画モードおよび時間

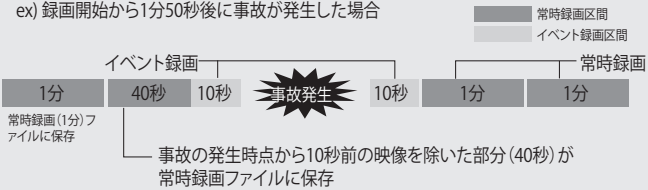
- **常時録画**：事故の有無にかかわらず 1分単位でずっと録画します。



- **イベント録画**：イベント（事故）発生前10秒／発生後10秒のみ録画します。
  （合計20秒）イベント録画が始まると、効果音が出ます。

- **常時+イベント**：常時録画とイベント録画を同時に使用します。常時録画中イベント（衝撃）が感知された場合、常時録画中の部分は止められ、イベント録画が進められます。イベント録画後、また常時録画が進められます。

ex) 録画開始から1分50秒後に事故が発生した場合



お知らせ

- イベント発生とは、ある衝撃が加えられた時、それを感知することを意味します。感度が高いほど微細な衝撃まで感知し、感度が低ければ強い衝撃のみを感知します。
- 録画映像が microSDカード容量を超える場合、古い映像から順に削除されながら録画されます。

音声（MIC）／スピーカー

音声録音ON/OFF（工場出荷時：OFF）

ボタン長押し（1秒以内）：MIC ON/OFF
音声案内：音声録音を始めます。／音声録音を終了します。

ボタン長押し（5秒以上）：スピーカー ON/OFF
音声案内：効果音（チャイム~）

GPS受信確認

GPSモジュールを接続して、電源をつなぐと、GPS信号を探知します。GPS信号を受信すると効果音が鳴り、MIC/GPS LEDの状態が変わります。

GPS機能を利用して、ユーザーの移動経路、速度、および時間などを記録します。
GPS LED：緑または点滅
* GPSモジュールは別売りです。

お知らせ

スピーカーがOFFの場合、イベント発生時や電源ON/OFF時でも音声案内はありません。
* GPS/MIC LED の動作
- MIC ON & GPS OFF：赤点灯
- MIC OFF & GPS 受信：緑点灯
- MIC ON & GPS 受信：緑点滅

microSDカードの初期化

M ボタンを5秒以上長押しします。.

音声案内: SDカードを初期化します。

システム再起動

システム再起動機能は、使用中にエラーが起こったり、動作が止まったりした場合に使用します。

リセットボタンをピンなどの尖ったもので押すと、システムが再起動します。

駐車録画モード

- 駐車録画モードへは、ACC入力信号によりACCがOFFになってから10秒経過後に、自動的に切り替わります。
- 駐車録画モードには、録画待機、イベント（衝撃）録画、モーション録画の 3種類の動作モードがあります。

駐車録画モードLEDの動作

駐車録画モード	REC LED	セキュリティLED
録画待機	点滅（3秒間隔）	点滅（2秒間隔）
イベント（衝撃）録画	点滅（3秒間隔）	点滅（0.5秒間隔）
モーション録画	点滅（3秒間隔）	点滅（0.5秒間隔）

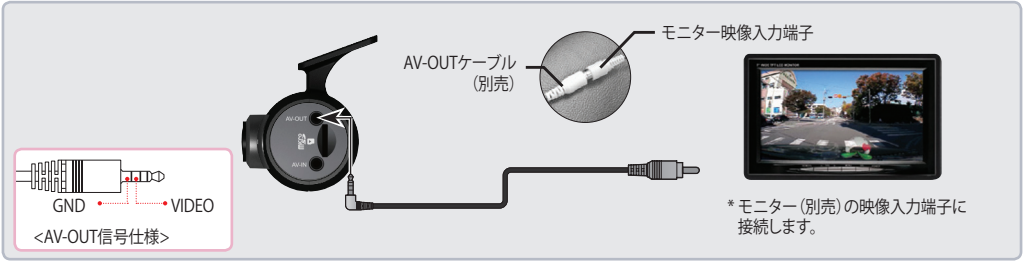
1 何かイベントが発生して録画状態になった場合、そのイベント発生前10秒間と、発生後10秒間だけが録画されます（合計20秒間）。

2 駐車録画モードでは、イベント発生時は解像度720P（1024 x 720）で録画されます。

お知らせ 駐車録画ファイルは、ファイル名に「P」がつきます。

リアルタイム映像確認

V-OUTケーブル(別売)を使用して車載用モニターに接続する場合、録画されている映像をリアルタイムに確認することができます。(映像出力のみ可／音声出力は不可)



お知らせ

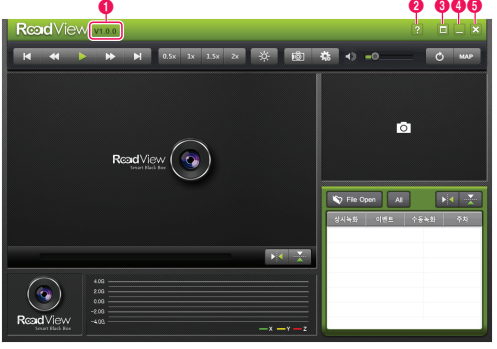
- 必ず、付属のケーブル(別売)を使用してください。他のケーブルを使用した場合、正しく動作しない恐れがあります。
- モニターの種類によって、接続端子の形状が違うことがあります。その場合は、お使いのモニターに適合する変換器を別途ご購入の上ご利用ください。

専用ビューアー

専用ビューアーを使用する

専用ビューアーアイコン( )をダブルクリックします。

基本画面



1	ビューアーバージョン	現在のビューアーのバージョンです。
2	ヘルプ	ヘルプを表示します。
3	最大化	全画面表示に切り替えます。
4	最小化	ビューアー画面を最小化します。
5	閉じる	ビューアーを閉じます。

ファイルを開く

1	「File Open」ボタンをクリックします。
2	SDカードが認識されたドライブを選択します。
3	「OK」ボタンをクリックします。

録画映像の表示

1	前の録画映像を再生	7	明るさ調節
2	10秒前の録画映像を再生	8	キャプチャー 現在の画面をキャプチャーします。
3	再生 再生中にクリックすると一時停止し、一時停止中にクリックすると再生を再開します。	9	環境設定（p.32参照）
4	10秒後の録画映像を再生	10	音量調節
5	次の録画映像を再生	11	前後方切り替え
6	倍速設定 映像再生中のみ変更可能です。	12	地図 GPS情報がない場合にはボタンは動作しません。

録画映像の表示

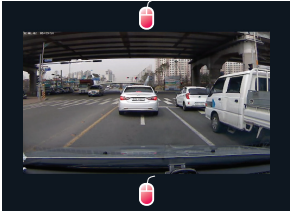
13	**前方映像（基本）**
14	**前方映像 左右反転**
15	**前方映像 上下反転**
16	**GPS情報（車両速度）** GPS情報がない場合はロゴが表示され、GPS情報がある場合は速度が表示されます。
17	**衝撃（G）センサーグラフ** 衝撃（G）センサー値（振動検知）をグラフで表示します。

録画映像の表示

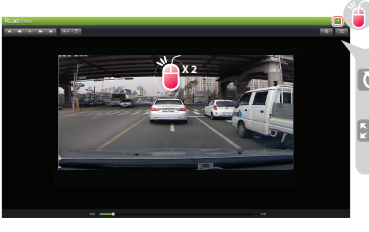
18	後方映像(基本)
19	選択フォルダー内の全ファイルリスト File Open時に選択したフォルダー内の全ファイルリストを表示します。
20	後方映像 左右反転
21	後方映像 上下反転
22	常時録画 (INFINITE) フォルダー
23	イベント (EVENT) フォルダー
24	手動録画 (MANUAL) フォルダー
25	駐車 (MOTION) フォルダー
26	再生ファイルリスト ファイルリストは最新のファイルから順に並びます

録画映像の表示（全画面表示で見る）

- 「最大化」ボタンをクリック!
- 全画面表示で見たい画面をダブルクリック!



動画の上、下でマウスを動かすとコントロールバーが現れます。

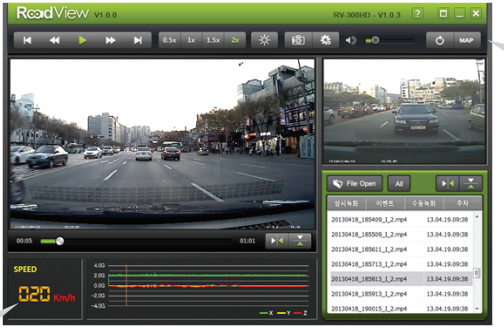


前方画面と後方画面を切り替えます。

映像をモニターに合わせ拡大／縮小します。

- 映像をダブルクリック!
- 「元に戻す（縮小）」ボタンをクリック!
- キーボードで「**Esc**」キーをクリック!

GPS（位置、速度）情報の表示



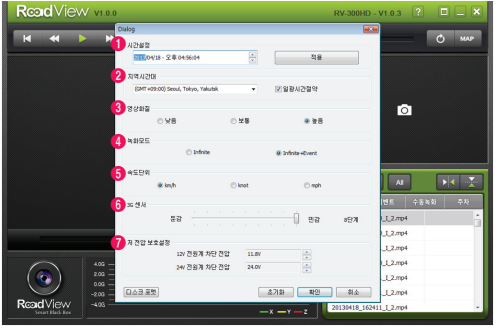
速度が表示されます。

GPS MAPウィンドウが表示されます。

＊GPS情報は、GPSモジュールが設置された場合に確認が可能です。

GPS情報がある場合	MAP
GPS情報がない場合	

環境設定



1	時間設定	ここで設定した時間を適用します。
2	タイムゾーン	「サマータイム」はサマータイムを適用する機能です。
3	映像画質	• 保存される映像の画質を選択します。 • 映像画質を低く設定するほど保存できる時間が増えます。
4	録画モード	• Infinite:常時録画モード • Infinite + Event:常時録画 + イベント録画
5	速度単位	映像に保存される速度の単位を設定します。
6	3Gセンサー	「感度が低い」に近いほど小さな衝撃でもイベント録画を行います。
7	低電圧保護設定	車のバッテリーが使用する電圧に応じて遮断電圧を設定します。

ファームウェアアップデート

- microSDカードを介してファームウェアアップデートが可能です。

1. アップデートするファームウェアファイルをmicroSDカードにコピーします。
2. microSDカードを本体に挿入した後、電源に接続します。
3. MIC/GPS LED（赤）が点滅して、アップデートが開始されます。
4. アップデート中に電源をOFFにしないでください。もし、電源がOFFになったり、他の事由で電源から取り外された場合、正常に動作できないことがあります。このような場合には、顧客センターにお問い合わせください。
5. アップデートが完了すると、再起動します。

お知らせ

- 本の製品のファームウェアアップデートは製品ホームページを通じて通知され、ファイルをダウンロードすることができます。
- ファームウェアバージョンは専用ビューアーの環境設定メニューで確認することができます。

microSDカードデータ

1 イベントフォルダー（EVENT）

- 衝撃（G）センサーで振動が検知された場合、20秒間の映像および音声を yyyymmdd_hhmmss_E_x.mp4というファイル名で保存します。
- 駐車録画モードで、衝撃（G）センサーで振動が検知された場合、20秒間の映像および音声を yyyymmdd_hhmmss_E_x.mp4というファイル名で保存します。

2 常時録画フォルダー（INFINITE）

- 1chの場合、標準モードで常時録画された1分間の映像および音声をyyyymmdd_hhmmss_I_1.mp4というファイル名で保存します。
- 2chの場合、標準モードで常時録画された1分間の映像および音声をyyyymmdd_hhmmss_I_2.mp4というファイル名で保存します。（2ch 記録時に、前方と後方の録画映像が一つのファイルとして合わせて生成されます。）

3 マニュアルフォルダー（MANUAL）

- 緊急録画ボタンを利用して録画した20秒間の映像および音声をyyyymmdd_hhmmss_B_x.mp4というファイル名で保存します。

4 モーションフォルダー（MOTION）

- 駐車録画モードでモーション録画を利用して録画した20秒間の映像および音声をyyyymmdd_hhmmss_P_x.mp4というファイル名で保存します。

5 **_System.cfg**
- 製品の環境設定情報が保存されています。

6 **_version.txt**
- 製品のバージョン情報が保存されています。

保存割合と録画可能時間

メモリー容量	チャンネル	項目	常時 (INFINITE)	イベント (EVENT)	モーション (MOTION)	手動 (MANUAL)
16GB	1CH 前方	保存割合	60%	10%	20%	-
		保存容量	約 10GB	約 1.6GB	約 3.2GB	250MB
		録画時間	約 220分	約 105件	約 210件	約 5件
	2CH 前方+後方	保存割合	60%	10%	20%	-
		保存容量	約 10GB	約 1.6GB	約 3.2GB	250MB
		録画時間	約 190分	約 90件	約180件	約 4件

録画方式による解像度

モード	条件	録画状態	録画フォルダ	本体(前方)カメラ	後方カメラ
常時モード	常時録画	常時録画中	INFINITE	HD (1280x720)	VGA (640x480)
	衝撃(G)センサー感知	イベント録画中	EVENT		
駐車モード	衝撃(G)センサー感知	駐車イベント録画中	EVENT	HD (1280x720)	
	動体感知	駐車イベント録画中	MOTION		
手動録画	手動録画ボタン短押し	イベント録画中	MANUAL		

製品仕様

区別		内容
モデル名		RV-300HD
カメラ	前方（本体）	2.0M Pixel, 1/3.2" CMOS Sensor
	後方	1/3" CMOS Sensor（別売品）
	画角	約 120°（対角基準）
解像度とフレーム数	前方（1CH）	前方（本体）カメラ：1280 x 720（最大30フレーム）
	前後方（2CH）（後方別売）	前方カメラ：1280 x 720（最大20フレーム） 後方カメラ：680 x 480（最大10フレーム）
圧縮方式		H.264（ビデオ）、AAC（オーディオ）
ファイルフォーマット		mp4
電源電圧		12V DC ~ 24V DC
外形寸法／重量		93 x 43 x 37 (mm)/65g
動作温度		-20℃ ~ +60℃
保存温度		-30℃ ~ +70℃

認証を受けた者の名前／認証番号	**㈱ エスディーシステム/ KCC-REM-SDB-RV-300HD**
器機名称（モデル）	車載用映像録画装置（RV-300HD）
製造年月	端末機に別途表記
製造者／製造国家	㈱ エスディーシステム／韓国

[KC認証マークおよび認証番号]

認証番号 : KCC-REM-SDB-RV-300HD

この機器は家庭用（B級）で電磁波適合登録をした機器であり、主に家庭で使うことを目的とし、すべての地域で使うことができます。

製品保証書

製品の保証期間は1年です。

サービスについて

- 私共 (株) エスディーシステムでは、品目別・消費者紛争解決基準 (公正取引委員会・告示) に従って下記のように製品に対する保証を実施します。
- サービスが必要な場合 、(株) エスディーシステムまたは指定のパートナーでサービスを受けることができます。

製品名		購入日		シリアル番号	
モデル名		購入先		購入金額	

無償サービス

購入後1年 (保証期間) 以内に正常な使用状態で発生した故障の場合、無償サービスを受けることができます。
(故障ではないもの、マーケティング、および過失によるものは除きます)

この製品を営業用途で使う場合の保証期間は半分 (6カ月) に短縮されます。

消費者被害分類			保証内容	
			保証期間以内	保証期間以降
保証期間以内の正常な使用条件での性能、機能上の故障	購入後10日以内に重要な修理をしなければならない場合		製品交換または払い戻し	該当なし
	購入後1カ月以内に重要な修理をしなければならない場合		製品交換または無償修理	
	製品購入時、運送過程および製品設置中に被害が発生した場合		製品交換	
	交換された製品が1カ月以内に重要な修理をしなければならない故障が発生した場合		払い戻し	
	交換が不可能な場合			
	修理可能	同じ原因で発生した故障が3回未満の場合	無償修理	有償修理
		同じ原因で発生した故障が3回目の場合	製品交換または払い戻し	有償修理
		別の原因だが故障が発生したのが5回目の場合		有償修理
	消費者が修理依頼した製品を事業者が紛失した場合			定額を減価償却した金額に減価償却した金額の10%を加算して払い戻し
	部品保有期間以内に修理用部品を保有していなくて修理が不可能な場合			定額を減価償却した金額を払い戻し
	修理用部品はあるが、修理が不可能な場合			
消費者の故意・過失による故障発生	修理が不可能な場合		有償修理にあたる金額取り立て後、製品交換	有償修理金額取り立て後、減価償却適用製品交換
	修理が可能な場合		有償修理	有償修理

領収書に記載された額と同額の返金を払い戻しいたします。

有償サービス

1) 故障ではない場合
故障ではない場合、サービス要請をすると費用が発生しますので、必ず使用説明書を読んでください。(修理が不可能な場合は、別途基準による)

2) 消費者の過失で故障した場合
- 消費者が故意に分解、改造したり、使用上の不注意 (浸水、破損、損傷) により故障が発生した場合
- (株) エスディーシステムの技術者または、指定パートナーの技術者ではない人が修理して故障が発生した場合
- 当社指定以外のパーツの使用によって故障が発生した場合
- 使用説明書の「安全のための警告および注意事項」を守らなかったために故障が発生した場合

3) その他の場合
- 天災 (火事、塩害、水害、落雷など) による故障が発生した場合
- 消耗性部品の寿命が無くなった場合 (乾電池など)
- 電圧急変について保護されていない不安定な電源を使用した場合

MEMO

RoadView

SD System Co., Ltd. / カスタマーセンター 1899-3316
613 Hundai I Valley, 223-12 Sangdaiwon 1-Dong, Jungwon-Gu,
Seongnam, Gyeonggi-Do, Korea